

シンポジウム「琉球と東アジア文化圏をつなぐもの 「自治」と民際学 - 」

龍谷大学経済学部教授
松島泰勝

【趣旨】

琉球が日本に「復帰」して2011年で39年となる。その間、琉球は自立に向かって進んだのだろうか。自治は確立されたのだろうか。むしろ振興開発とリンクする形で米軍基地が押し付けられ、国に大きく依存するようになった。普天間基地の「県外移設」という公約も破られ、日本政府は辺野古新基地を建設しようとしている。

琉球はかつてアジア諸国と交易を行った海洋国家であり、東アジア文化圏の諸地域と多くの歴史的、文化的共通性を持っている。民と民との直接的な関係性を重んじる民際学の考えに基づいて、琉球の人々が東アジア地域の自治的自覚をもった人々とつながり、アジアとの間で「ゆいまーる」関係を築くことで、現在、琉球が直面している閉塞状況を打破できるのではないか。

琉球が今抱えている問題を真剣に考え、将来の方向を決めることができるのは琉球人自身である。琉球は東アジア文化圏の中に存在しているのである。国民国家、国境を越えて東アジアにおける自治、民主主義について議論し、琉球のあるべき未来像を提示したい。

日時：2011年3月5日(土)午後2時~6時

場所：沖縄大学大講義室(3号館101教室：170人)

プログラム：

14：00～：挨拶・趣旨説明[松島泰勝(龍谷大学)、緒方修(沖縄大学)]

14：10～：基調講演

片山善博(総務大臣) 「沖縄と自治」(仮題)

14：45～：問題提起(パネリストから)

松島泰勝(龍谷大学経済学部教授) 「琉球の「自治」と民際学」

王柯(神戸大学大学院国際文化学研究科教授) 「第三の公共空間を目指して」

佐藤優(作家、元外務省主任分析官) 「沖縄を巡る情勢論と存在論」

大城立裕(作家) 「同化志向を脱けられるか」

16：00～：唄と話

海勢頭豊(琉球の平和ミュージシャン)

16：20～16：30：休憩

16：30～：全体討論

17：40～：質問回答、全体のまとめ

17：55～：閉会の挨拶[仲地博(沖縄大学副学長)]

司会：仲地博(沖縄大学副学長)

主催：龍谷大学社会科学研究所民際学研究会、
NPO法人ゆいまーる琉球の自治

共催：沖縄大学地域研究所

協賛：藤原書店、ウエル・カルチャースクール

参加申し込み：沖縄大学地域研究所(098-832-5599)

【沖縄大学へのアクセス】 <http://www.okinawa-u.ac.jp/shisetsuAccess.php>

バス路線

那覇市市内線

真和志小学校前(那覇市寄宮)下車、南へ徒歩約7分(那覇バス...2番、3番)

沖縄大学前下車 那覇バス...6番

市外線 那覇バスターミナルより沖縄大学前下車

沖縄バス35番(志多伯線)、100番(白川線)、40番・109番(大里線)



講演者・パネリスト等略歴

基調講演



片山 善博（かたやま・よしひろ）：総務大臣

昭和 26 年岡山県生まれ。東京大学法学部卒業。49 年自治省（現総務省）に入省。自治大臣秘書官、自治省府県税課長などを歴任。平成 11 年に鳥取県知事に当選（2 期 8 年）。19 年から慶應義塾大学法学研究科教授、20 年から同学法学部教授。また、地方制度調査会副会長、行政刷新会議議員も務めた。22 年 9 月から総務大臣。著書に『市民社会と地方自治』（慶應義塾大学出版会）、『日本を診る』（岩波書店）。

パネリスト



松島 泰勝（まつしま・やすかつ）：龍谷大学経済学部教授

1963 沖縄県石垣島で生まれ、南大東島、与那国島、沖縄本島にて育つ。早稲田大学大学院経済学研究科博士課程満期単位取得退学。経済学博士。在ハガツニヤ（グアム）日本国総領事館、在パラオ日本国大使館において専門調査員を務めた。東海大学助教授を経て現在、龍谷大学経済学部教授。NPO 法人ゆいまーる琉球の自治代表。著書に『沖縄島嶼経済史』『琉球の「自治」』（ともに藤原書店）『ミクロネシア』（早稲田大学出版部）。



王 柯（おう・か）：神戸大学大学院国際文化学研究科教授

1956 年生、中央民族大学卒業、中国政府文化部社会文化局勤務を経て来日、94 年 3 月東京大学にて学術博士学位を取得、96 年神戸大学着任、現在大学院国際文化学研究科教授。著書に『「天下」を目指して』（農文協）、『二〇世紀中国の国家建設と「民族」』（東大出版会）、『多民族国家中国』（岩波新書）、『東トルキスタン共和国研究』（東大出版会、第十八回サントリー学芸賞）、『民族与国家』（中国社会科学出版社）、連載『日中関係の過去・現在・未来』（藤原書店『環』）等。



佐藤 優（さとう・まさる）：作家、元外務省主任分析官

1960 年東京都生まれ。1983 年同志社大学神学部卒業、1985 年同大学院神学研究科修了。同年外務省入省。在英日本大使館、在露日本大使館、本省国際情報局分析第一課等に勤務。2002 年背任・偽計業務妨害容疑で逮捕、起訴。2005 年執行猶予付き有罪判決。2009 年最高裁で上告棄却に伴い、外務省を失職。



大城 立裕（おおしろ・たつひろ）：作家

1925 年沖縄県生まれ。上海の東亜同文書院大学を敗戦のため中退。沖縄で公務員を 39 年間つとめ、1986 年県立博物館長を定年退職。かたわら創作活動で、1967 年に作品「カクテル・パーティー」で第 57 回芥川賞。『小説琉球処分』（講談社文庫）、『大城立裕全集』13 巻（勉誠出版）など。沖縄の演劇運動にもかわり、近年は創作組踊を執筆。『花の幻 琉球組踊十番』（カモミール社）。1990 年に紫綬褒章。1993 年に『日の果てから』で第 21 回平林たい子賞。ほかに、沖縄タイムス賞、琉球新報賞、沖縄県功労賞など。

唄と話



海勢頭 豊（うみせど・ゆたか）：ギタリスト・シンガーソングライター、平和音楽家

1943 年生まれ。代表的な歌に「月桃」「喜瀬武原」「さとうきびの花」「中の町青年団」等多数。交響詩、オペラ作品、バレエ作品など、精力的に活動を行っている。

（写真・プロフィールは <http://umisedoyutaka.ti-da.net/d2011-02.html> より加工・編集）